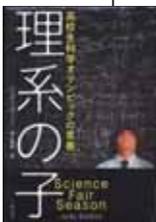




理系の子 高校生科学オリンピックの青春

ジュディ・ダットン / 著 横山啓明 / 訳 文藝春秋 2012.3

米国の十代の理科学オリンピックにチャレンジする高校生達のノンフィクション。登場するのは恵まれない環境の高校生。少年院暮らしの子、荒野のトレーラー・ハウスに住む子、難病の子など。彼らが優勝するまでの共通点は、自らの強い好奇心とそれをできる限りサポートする大人や仲間達。そして、科学はいつも身近なところにヒントを示してくれているのです。(刈谷市中央図書館 MI)



クラT大図鑑

主婦の友社 2008.7

体育祭や文化祭、部活などなど、クラスやクラブの仲間と一致団結して取り組むことってあ



るよね そんなときには、おそろいのTシャツ"クラT"を作ってみるのはどう?? この本では全国300以上のクラスから集まった自慢のクラTを紹介しているよ。いろいろな工夫を凝らしたクラTは見ていだけでも楽しく、自分たちだったらどんなデザインにするか話し合うのも楽しそう 個性あふれるオリジナルのクラTは、団結力を高めるだけでなく、思い出に残ること間違いなし! みんなもクラTを作ってみよう (岡崎市立中央図書館 落花生)

教室内(スクール)カースト

鈴木翔 / 著 光文社新書

光文社 2012.12

暴力や悪口とは違うからいじめじゃない? だけど教室にいるのがなんとなく息苦しい。その原因はもしかしたらこの「教室内カースト」かも。対応するためにも、知っておくことは重要なこと。コトバにしにくいあの雰囲気調査研究したこの本は、あなたを助ける手段になるかもしれない。(名古屋市南図書館 弓)



* 所属館名は執筆当時のものです。

創刊号(2014年1月22日発行)
編集 愛知県公立図書館長協議会
 ヤングアダルトサービス連絡会
事務局 愛知県図書館
名古屋市中区三の丸一丁目9-3
TEL 052-212-2323

Aichi Librarians' Choice

no.1

愛知県内の図書館員がティーンのみんにオススメの本を紹介するA・L・C

夢中になる!p 1

カラを破るp 4

友だちって?p 6

なぞを解くp 8

小説以外の本p 11

今回のテーマは

学校!



夢中になる!

少年少女飛行倶楽部 加納 朋子 / 著

文藝春秋 2009.4



みんなの学校にはどんな部活がある? 主人公の海月の中学校には“飛行クラブ”という何とも怪しげな部活がある。飛行クラブとはその名のとおり、“空を飛ぶこと”を目的とした部活だ。“空を飛ぶ”と言ってもバンジージャンプやほうきで空を飛ぶといった類のものではなく、理想はピーターパンのように飛ぶこと 海月は幼なじみ(腐れ縁?)である樹絵里の初恋のために、成り行き上入部することになった。個性的な部員の中で、何と言ってもキョーレツなのは部長である斎藤神だ とんでもなくマイペースでしかも偉そうな彼の態度は、何様? カミサマ? って感じ。だけど、彼らの奮闘ぶりに、ホントに空を飛べるかもって気分になってくる。果たして彼らは空を飛ぶことができるのか!? (岡崎市立中央図書館 落花生)



カブキブ! 1

榎田ユウリ / [著]

角川書店 2013.8



高校1年の来栖黒悟は、祖父の影響で歌舞伎が大好き。「歌舞伎を部活でやってみたい」という一身で「カブキブ」設立のために学内の中で有力候補に上げたメンバーをそろえることに奮闘する。ちょっと敷居が高く感じるけれど、実は江戸庶民の娯楽のひとつである。「敷居なんかありやしねえ。パリアフリーだ」。今までにないポップで斬新なカブキの物語、開幕！（清須市立図書館 あきんこ）

くるくるコンパス

越谷 オサム / 著

ポプラ社

2012.4



中学3年のシンヤ、カズト、ユイチは、修学旅行の班別自由行動日に、班行動から抜け出し、大阪に引っ越した元将棋部の水谷佳織の家に行く計画を立てた。大阪駅の乗り換えに四苦八苦、道頓堀では不良にもからまれる。計画を遂行し、教師に見つからずにチェック時間までに班に合流できるのか…（愛知県図書館 とも）

鉄のしづきがはねる まはら三桃 / 著

講談社 2011.2



ボルトやネジ、その他身近にあるいろいろな鉄製品の作り方で知ってる??生産は機械化されている部分も多いけど、それでも職人さんの手作業で生み出される『ものづくり』の部分はなくなる。なぜならものづくりは楽しいから！北九州工業高校電子機械科、唯一の女子・三郷心も、そんなものづくりの魅力にハマった一人だ。心はひょんなことから“ものづくり研究部”、通称“もの研”の手伝いをするハメになってしまった。最初はものづくりなんて効率が悪いとイヤイヤ手伝っていた心だが、次第にそのおもしろさに惹かれていく。ストイックな原口、お調子者の吉田、マイペースで天才肌の亀井と、個性的な部員もステキだ。熱い気持ちでものづくりに挑む心たちに、こちらもちよくなってくる。ものづくりっておもしろい!!（岡崎市立中央図書館 落花生）

サクラ咲く 辻村 深月 / 著 光文社 2012.3



学校が舞台の3つのお話が収録されています。特におすすめは、地味グループである映画同好会の主人公たちが、図書館の君と呼ばれる先輩に出演交渉をする『世界で一番美しい宝石』。引き受ける条件として、昔読んだきりの本の結末が知りたいと言われるのですが。「学校は誰のためのものなのか」、主人公の問いかけが胸に響きます。3つのお話の小さな繋がりに気づいたときに、きっとこの本が大好きになると思います。（東海市立中央図書館 かなかな）

ぼくらの先生! はやみねかおる / 著 講談社 2008.10



小学校の教員を退職した「わたし」。教員時代の思い出を妻に語るうち、様々な「疑問」が立ち上がってきます。あの生徒はあのとき、なぜあんなことをしたのだろうか?奥さんとの会話で、彼らの「感情」の謎が解かれていきます。読んだあと気持ちがやわらかくなる、はやみねかおるさんのミステリ短編集。小学校の話なんて、子どもっぽい?いえいえ、そんなことはありません。老夫婦の茶目っ気ある会話にも注目です。（犬山市立図書館 M）

小説以外の本

高校生が感動した「論語」 佐久協 / [著]

祥伝社 2006.7



論語は孔子の説いた人生訓。そして、それは決して古くはないのです。難しくないので。今を生きる若者にも、きっと心に響きます。最近イライラする人、モヤモヤする人、迷っている人、探している人、一歩を踏み出そうとしている人、落ち込んでいる人、そして揺らいでいる人。きっと、君の心に何かを投げかけ、答えを見つかることができるでしょう。（刈谷市中央図書館 MI）



樹上のゆりかご 荻原 規子 / 作

理論社 2002.5



高校2年生・上田ひろみが通う都立辰川高は有名大学への高い進学率を誇るものの、生徒会が盛んで伝統行事を重んじる自由な校風の元男子校だった。そんな高校で「女の子」として時折感じるかすかな疎外感。合唱祭に売り子を頼まれたことをきっかけに、ひろみは個性豊かなメンバーが集まる生徒会執行部、合唱コンクールで指揮者を務めた印象的な女子生徒に関わることとなり、合唱祭、演劇コンクールに体育祭という行事の裏で次々と起こる事件に巻き込まれていく。これ一作でも読めますが、中学3年生の上田ひろみの物語『これは王国のかぎ』を読んでからの方が楽しめます。(刈谷市中央図書館 すず)



モナミは世界を終わらせる? はやみね かおる / 著

角川書店 2011.9

「おまえ、気づいてないだろうけど、命を狙われてるんだぜ」いきなりそんなことを言われたらどうする?? モナミはちょっぴりドジな普通の高校2年生の女の子。突然現れた男にこう言われ、平凡だったモナミの日常は急変する。なんとモナミの学校で起こることが世界の大事業と同調(シンクロ)し、その中心にいるのがモナミだというのだ。走れば転び、ボールを蹴ればあさっての方向に飛んでいく、そんなモナミの数々のドジっぷりは、予想の斜め上に行くものばかり。けど、悪いところはちゃんと反省したり、きちんと謝ったりするからなんか憎めないキャラなんだよねえ…。果たしてモナミは世界を守ることができるのか!? (岡崎市立中央図書館 落花生)

冷たい校舎の時は止まる

上・中・下

辻村 深月 / 著

講談社 2004



雪の降る中校舎内に閉じ込められた、8人の高校3年生のクラス委員たち。学園祭最終日に学校の屋上から飛び降りて死んでしまったクラスメイトが誰なのか、どうしても思い出せないことに気づく。どういう現象なのかも解決する術もわからない中、仲間がひとり、またひとりと消えてゆく。この現象はいったい何なのか?そして彼らを招きよせた『ホスト』の正体は?(名古屋市南図書館 弓)

快晴フライング 古内一絵 / 著

ポプラ社 2011.4



弓が丘第一中学校の水泳部はほんの2年前に同好会から部へ昇格したばかりの新参部だ。せっかく部に昇格したのだが、ある事件がきっかけで再び同好会に降格という危機に直面することに。部存続の条件は、弓が丘杯のリレー戦で優勝することというのだが、残った部員は少々(?) 個性的なメンバーばかり泳げない水中歩行部員にアニメ・コスプレ大好きなオタク部員、芸人目指してなぜか関西弁を使うお調子者部員…。決して泳ぐのが速いとは言えないけれど、水泳が大好きという真っ直ぐな気持ちはピシピシ伝わってくる!(岡崎市立中央図書館 落花生)

鷹のように帆をあげて

まはら 三桃 / 著

講談社 2012.1



飛べない鷹と不器用な少女が翼を広げる日はきっとくる。九州の空を舞台に、鷹に心奪われた女子中学生が、鷹の「帆翔(はんしょう)」をめざす。実際にいた女子高生の鷹匠(たかじょう)を題材にした、細やかな描写にひきこまれるまはら三桃の青春小説3部作のひとつ。2度と戻らない10代の背中を押してくれるような作品。(清須市立図書館 あきんこ)

船に乗れ! 1~3

藤谷 治 / 著

ジャイブ 2008~2009



音楽一族に育ったサトルにとって、音楽の道に進むのは自然なことだった。高校の音楽科に進学すると、そこには共に音楽を演奏できる仲間がいた。そして、ヴァイオリン専攻の女の子に熱烈に恋をする。オーケストラ合宿、文化祭のためのトリオ結成、ひたすら練習する毎日を送るサトルだが…。3巻ありますが、物語の世界に引き込まれて一気に読めます!(愛知県図書館 右)



カラを破る

おれのおばさん 佐川光晴 / 著 集英社 2010.6

14歳の陽介は、父の不祥事から都内の名門私立中学を退学。叔母の運営する札幌の児童養護施設で、さまざまな事情を抱え過酷な環境を生きてきた中学生たちと暮らすことになる。「元医学生で元舞台女優でバツイチ」と、型破りな生き方ではあるが、自分で人生を切り開いてきた叔母。悩みを抱えながらも希望を捨てない仲間。そして、信じられる大人たちに支えられながら強くあろうとまっすぐに生きようとする陽介。「ぼく」から「おれ」への成長譚。(日進市立図書館 さえ)



あの日、ブルームーンに。 宮下恵菜 / 著

ポプラ社 2011.5

みんなの初恋っていつ? このお話の主人公・結愛は中3で初めての恋を経験する。結愛は成績優秀で真面目な優等生。恋バナや噂話ばかりするクラスメートに馴染めず、トモダチと呼べる相手もない。卒業までの日々を目立たないようにひっそり過ごしていこうとしていた結愛に転機が! 学校で一目置かれる存在である『あの一とたち』の一員、蒼井瞬に廊下でぶつかってしまったノダ!! それをきっかけに少しずつ結愛の日常は変化していく…。純粋で真っ直ぐな結愛の気持ちにみんなも心を動かされるハズ。そして蒼井くんのカッコよさには注目だ! 読み終わった後はラムネが飲みたくなるような爽やかさ (岡崎市立中央図書館 落花生)



気になる本があったら
図書館で借りて読んでみよう!
もし近くの図書館になくても、
他の図書館から取り寄せてもらえるよ。
受付のひとに聞いてみてね。

お任せ! 数学屋さん 向井 湘吾 / 著

ポプラ社 2013.6

中学2年生の天野遥は数学が大嫌い。テストは毎回追試、数学のことを考えるのさえおぞましい。ある日、遥のクラスに転校生がやってきた。転校生の名前は神之内宙。宙は転校初日、「特技は数学。将来の夢は、数学で世界を救うこと」と、トンデモあいさつをかます。そして、「数学屋」などという得体の知れないお店(?)を始めた。悩みを数学の力で解決するというものらしいのだが...? 遥は宙のマイペースっぷりに振り回されながらも、少しずつ数学の奥深さを知っていく。「数学って何のために勉強してるんだらう?」とか「こんなの役に立つのかな?」とか思ってしまう数学を、遥と一緒に勉強しているような気持ちになってくる。これを読んで苦手な数学を克服しちゃおう! (岡崎市立中央図書館 落花生)



家元探偵マスノくん 笹生 陽子 / 著 ポプラ社 2010.11



高校1年生のチナツは入学後最初の課題である友達づくりにつまずき、「ぼっち」となってしまう。そんなときに出会ったのが、およそ高校生らしからぬ物腰でしゃべるマスノくんだった。マスノくんから怪しげな部活に勧誘され、恐る恐る部室に足を踏み入れてみると、そこにいたのは、自称女優や自称戦士、ネット越しの参加者スカイプさんといった超個性的なメンバーたちだった。マスノくんにしても、華道の次期家元にして探偵部の一人部長という、ちょっと変わった肩書きの持ち主。メンバーそれぞれが別の方を向き、全くまとまりのないTEAM BOTCHが日常に起こる謎に挑む。メンバーひとりひとりも面白いが、何よりチナツの冷静なツッコミが面白くなってサクサク読めちゃうよ!! (岡崎市立中央図書館 落花生)



夜の光 坂木司/著

新潮社 2008.1



昼はクラスもグループも別だが、夜は天文部員として行動を共にし、誰にも気付かれずにミッションを

遂行するスパイ集団。世間的には3年生が4人いるだけの、ぬるい天文部と思われているかもしれないが、それはあくまで敵をあざむくためのカモフラージュだ。美少女のジョー、ギャルのギィ、大男のブッチ、アーティストきどりのゲージという4人のスパイ(天文部員)の高校生活最後の1年間の孤独な闘いと活躍を描く。(名古屋市鶴舞中央図書館 mt)

砂糖菓子の弾丸は撃ちぬけない 桜庭一樹/著

KADOKAWA 富士見書房 2007.3



「好きって絶望だよな」転校初日、自分を人魚だと言い放った美少女・海野藻屑が片田舎の中学校に現れたのは、夏休み明けの曇り空の朝だった。「金、かね、カネ」、「実弾」を得るために早く社会に出ることを望む13歳の山田なぎさは、偶然にも海野藻屑の秘密を知ってしまい、「友達」として彼女と深く関わっていくことになる。藻屑の放つ「砂糖菓子の弾丸」は、なぎさを強く刺激するが…。切なく、そして絶望を持った青春小説。「砂糖菓子の弾丸」では撃ちぬけない。(刈谷市中央図書館 すず)

潮風に流れる歌 関口尚/著

徳間書店 2010.2



ぼくは、目立たないように周りにあわせて生きてきた。でも、彼女はいつも自分らしく考え、行動している。ぼくはそんな彼女に憧れと尊敬を持つが、クラスから何かされるかもしれないと心配になる。けど、彼女の行動の裏には、大事な理由があった。それを知った時、ぼくは変わりたいと思い、行動した。その行動は、クラスにある変化をもたらす始める。高校生たちの切ない想いを綴った連作短編の青春ストーリー。(江南市立図書館 久那久)

カエルの歌姫

如月 かずさ/著

講談社 2011.6



放送委員の流之助が、校内放送の企画でアイドルをプロデュースすることになった。歌声とメッセージを録音し、給食中に放送するというアイデアだ。相談を受けた僕は「雨宮かえる」の音源を提供した。キュートで透明感のある歌声に流之助は満足した。しかし「雨宮かえる」の正体をぼくは教えることができなかった。覆面アイドルは、何年何組の誰なのか？企画はいつまで続くのか？恋の季節を告げるカエルの鳴き声か、かえる」の恋を応援しているかのような、学園恋愛ストーリー。(半田市立図書館 まぬち)

なぞを解く

刑事の子 宮部みゆき/著 光文社 2011.9

中学1年生の八木沢順は、両親の離婚により、刑事の父と家政婦のハナと3人で暮らしていた。そんなある日、近所の家で人殺しがあったという噂がながれる。それと同時に起きたパラバラ殺人事件。2つの事柄は関係しているのか？真相を知るために、順は同じクラスの友人慎吾と共に捜査を始める。(碧南市民図書館 ごんた)



よろこびの歌 宮下奈都/著 実業之日本社 2009.10

数年前にできたばかりの聞いたことのない女子高校。「こんな高校に行ったら意味がないと思っていた」玲、雨の日も往復2時間かけて自転車通学する千夏など6名のクラスメイトが各々の視点を語る。高校2年生の彼女たちが、歌をきっかけに前向きに進んで行く。玲は「ここで私は生きていくのだ」と変化する。懐かしいような羨ましいような、自分の学生時に出会いたかった励まされる1冊。(刈谷市中央図書館 大熊猫)



**医学のたまご** 海堂尊 / 作 理論社 2008.1

僕、曾根崎薫はごくフツの中学1年生。ちょっとだけ変わってるのは、パパが世界的ゲーム理論学者なことぐらいだ。そんな僕が、「大学で医学研究をしてみないか」って、突然スカウトされちゃった。しかも僕、どうやらすごい発見をしちゃったみたいで...!? 学校って? 勉強って? 仲間って?? フツの中学生・薫が、「オトナたちの世界」の中で奮闘する姿を、コミカルな文章で描く1冊です。(日進市立図書館 たけゆ)

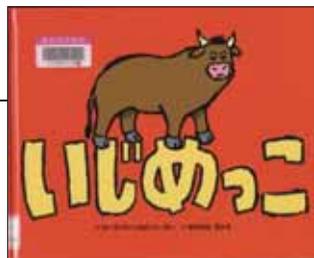
**春へつづく** 加藤千恵 / 著 ポプラ社 2013.3

北国のとある中学校に、不思議なジンクスが伝わっていた。それは卒業式の朝だけ、願い事を叶えてくれる「あかすの教室」の扉が開くというもの。人生初の告白に奮闘する男子生徒、自称“本の森の番人で千二百歳”の司書の先生、一日でも早く大人になりたいと願う女子生徒.....不思議なジンクスを巡り繰り広げられる、八つの物語。中学時代って、楽しいだけじゃない、みんな何かを悩んでいるんだ。そんなあの時を思い出す連作短編集。(武豊町立図書館 とめさち)

**友だちって?****いじめっこ**

ローラ・ヴァッカロ・シーガー / 作

ながわちひろ / 訳 あすなろ書房 2013.8



最近「イジメ」という言葉をよく耳にしますね。皆さんの学校ではどうですか? この本のある場面では「ぶた」に向かって「ぶた」と言います。当たり前? それとも...。絵本だから誰で必ず読める一冊です! さあ、手にとって読んでみましょう。でも、ん?! この絵本最初のページは一体どこなのかな?? (東海市立中央図書館 いっしー)

きみの友だち 重松清 / 著

新潮社 2005.10

足が不自由で、まわりに壁をつくりながら生きてきた恵美。身体が弱く学校も休みがち、な、おっとりとした性格の由香。クラスで浮いてしまいがちな二人は、たくさんの友だちを持つことよりも、二人でいることを選んだ。時にうとうとして、ややこしい、めんどくさくて、大切な人。友だちって何だろう... (日進市立図書館 さえ)

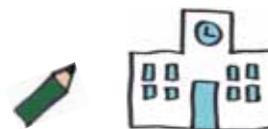
**葡萄が目にしみる**

林真理子 / 作

角川書店

1984.11

紹介文の中の「笑いさざめき、かすかに憎しみ合う級友たち」という一文に、主人公である乃里子の思春期の環境が端的に表現されています。特別な取り柄もなく、色んな部分にコンプレックスを抱いている平凡な少女、乃里子。友人に「自意識過剰」とも評される強い感受性を持つ彼女の目を通して、様々な出来事が描かれます。女の子の人間関係は、今も昔も、いくぶん難しいものなのかもしれません。(刈谷市中央図書館 hk)

**ぼくは落ち着きがない** 長嶋有 / 著

光文社 2008.6

桜ヶ丘高校の図書部は、図書館のカウンター業務等を担っている。部室は、図書館のベニア板で仕切られた書庫のような細長い空間であり、日々その部室に「落ち着きのない」部員が集まってくる。だらだらしているけど、いろんなことが起こるのだ。(名古屋市瑞穂図書館 七)

